

令和5年度 博物館セミナー予定表

| | 期 日 | 時 間 | 講 師 | タイトル | 内 容 |
|---|----------------------|-----------------------|-------|-----------------------------|---|
| 1 | 令和5年 7月9日 (日) | 13時30分 ～ 15時30分 | 松井哲洋氏 | 丸木舟・準構造船・構造船の建造技術について | 船は、私たちの生活と密接な関係を持つ重要な道具の一つです。縄文時代から現在にいたる数千年の中で、日本の船がどのように進化してきたのか、船釘やツバノミ、マキハダ、などの実物を触っていただきながら、皆さんと共に考えていきます。 |
| 2 | 8月20日 (日) | | 岩槻秀明氏 | 河川敷の植物いろいろ | 河川敷を歩くとさまざまな植物を見ることができます。他の環境ではあまり見られないような、ちょっと珍しい種類も少なくありません。博物館周辺の河川敷で確認した植物を写真でいろいろ紹介します。 |
| 3 | 11月19日 (日) | | 市川幸男氏 | 江戸時代の治水の仕法・関東流関東郡代伊奈家の人々の業績 | 江戸時代前半の治水（利水を含む）の仕法は「関東流」または「伊奈流」と呼称されています。利根川東遷の始まりと言われる会の川締め切りや関東平野各地の備前堀、備前渠用水、備前堤などの施策を牽引した伊奈家初代の関東代官頭伊奈備前守忠次、新川通や赤堀川の開削着手、荒川瀬替えなど利根川東遷の主要な事業を中心に主導した伊奈家第三代の関東郡代伊奈半十郎忠治、利根川東遷の概成となる赤堀川の増掘削をした第四代伊奈半左衛門忠克などは比較的知られています。以降、1792年に「家事不行届」を咎められて罷免された第十二代の伊奈忠尊（ただたか）まで世襲されていった伊奈家の人々の業績について紹介します。 |
| 4 | 12月10日 (日) | | 中村正己氏 | 戊辰戦争旧幕府軍の北上と新政府軍との攻防 | 幕末の慶応4年正月3日（戊辰の年）京都の鳥羽、伏見で起こった薩摩、長州の新政府軍と旧幕府軍との戦いは、戊辰戦争の発端となりました。徹底抗戦する旧幕府軍（大鳥圭介）が江戸を脱出し、北関東地方の岩井（現坂東市）、武井、結城、小山方面に北上して新政府軍との攻防戦を展開しました。その史料を読み解きます。 |
| 5 | 令和6年 1月21日 (日) | | 松丸明弘氏 | 川船の旅ー木下茶船で三社詣ー | 江戸時代に利根川流域で人気のあった三社（香取神宮、鹿嶋神宮、息栖神社）を巡る利根川クルーズ（船旅）について紹介します。 |
| 6 | 2月11日 (日) | | 石田年子氏 | 野田市の太子講について | 太子講とは、建築や木工関係の職人達が聖徳太子を守護神として、その命日に宿に集まり、聖徳太子の掛軸に 礼拝の後に親睦の飲食を共にする職業講で、一年の手間賃の協定や仕事上の取決めを相談するなど組合の役割も果たしました。野田市内の太子講により造立された聖徳太子塔から職人達の動きを明らかにします。 |
| 7 | 3月10日 (日) | | 新井浩文氏 | 戦国時代における湖沼の機能ー関宿城周辺を中心にー | 関宿城周辺にはたくさんの湖沼がありました。近年、この湖沼の機能に注目が集まっています。戦国時代の関宿城周辺の湖沼の機能はどのようなものだったか紹介します。 |